

光ファイバ伝送専門委員会 標準(案) 説明資料

新規 1件

2024年度1Q

一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)
光ファイバ伝送専門委員会

委員会構成

光ファイバ伝送専門委員会

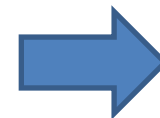
委員長 松井氏 (NTT)
副委員長 飯塚氏 (ソフトバンク)

光ファイバシステムSWG (SWG2001)

リーダー 吉兼氏 (KDDI)
ITU-T SG15 課題6に対応

光ファイバケーブルSWG (SWG2002)

リーダー 松井氏 (NTT)
ITU-T SG15 課題5、7、8に対応



JT-L250 (第1版) 作成

標準案

【新規:1件, 改訂:0件, 廃止:0件】

- JT-L250 (第1版):
光アクセスネットワークのトポロジ
Topologies for optical access network

国際標準との関連

TTC標準	対応する国際標準
JT-L250 (第1版)	ITU-T L.250 (1/2024)

JT-L250 標準案
光アクセスネットワークのトポロジ
Topologies for optical access network

説明資料

光ファイバ伝送専門委員会
光ファイバケーブルSWG

JT-L250

はじめに

ITU-Tにおける光ファイバケーブルの国際標準は、伝送システム等に関する勧告群(Gシリーズ)と屋外設備や保守・運用に関する勧告群(Lシリーズ)の2種類に大別される。

Lシリーズ勧告群には、光ファイバケーブル、その試験法と敷設法に関する勧告群が網羅されている。

ITU-T L.250は、光アクセスネットワークのトポロジと題し、モバイル通信用の集中型無線アクセスネットワーク、及びその他のネットワークサービスの設計と構築に使用される光アクセスネットワークについて記載している。

本勧告には、信頼性の高いネットワークトポロジについても記載されており、有用であるため、TTCにおてもITU-T L.250の速やかなJT標準化が必要と判断した。

JT-L250 標準案

【JT-L250での規定事項】

本標準は、シングルモード光ファイバのアクセスネットワークアーキテクチャを定義し、新規敷設の計画と既存のネットワークの更新に関する情報を提供する。加えて、本標準は、光アクセスネットワークのアーキテクチャ設計に依存する伝送性能と光学的な安全性を考慮する。

本標準は、以下を含む。

- 様々なシステムの目標を満たすために使用される
ファイバ配線及びケーブル配線のアーキテクチャの定義と一般的な機能
- 光アクセスネットワークのパフォーマンスを向上させるための集合アーキテクチャ
- ネットワークアーキテクチャ内のコンポーネント
- 光学的な安全性の要件
- 導入時の課題

【ITU-T L.250との差違】

なし

【その他】

なし

JT-L250

標準案 目次

<ITU-T L.250 (1/2024) 和訳>

1. 規定範囲
 2. 参照
 3. 定義
 4. 略語
 5. 慣例
 6. ネットワークアーキテクチャにおける階層の概念
 7. アクセスネットワークアーキテクチャ
 8. 配線特性
 9. 高信頼な光配線法
 10. 光ネットワークのアップグレード
 11. 光アクセスネットワークの光伝送性能
 12. 光安全性
 13. 光アクセスネットワークの普及段階
- 付録I 敷設及び保守に関する留意事項
- 参考文献